

名古屋市とウズベキスタン・タシケント市
パートナー都市連携5周年

ウズベキスタン、キルギス、タジキスタン写真展の開催



JICA 中部が運営するなごや地球ひろばでは、中央アジア3か国（ウズベキスタン、キルギス、タジキスタン）を紹介する写真展「CENTRAL ASIA—青と風の大地—」を開催いたします。

中央アジアと日本 初の首脳会合開催へ

中央アジアと聞いて、そのすべての国を答えられる人は少ないかもしれません。実は、旧ソ連から独立したこの地域の国づくりに、日本はこれまで深くかかわってきました。そして、豊富な資源や物流面からも注目を集める中央アジアと日本は今年、初の首脳会合を開催する予定です。

この地域では、石油や天然ガス、希少金属などが豊富な国とそうでない国との間で大きな経済格差が生じています。また、資源の乏しい国では、厳しい自然環境などから産業発展が遅れ、出稼ぎ労働者からの海外送金に多くを頼る弱い経済状況に陥っています。JICAは、民主的な国づくりや、市場経済化に向けた経済改革、インフラ整備や人材育成などに、日本の経験・ノウハウを活かして協力することを通じて、同地域の安定と発展、そして日本との関係強化を目指しています。

本写真展では、JICAが拠点を有し協力を行うウズベキスタン、キルギス、タジキスタンの3か国の様子を約50点の写真を通じてご紹介します。手つかずの自然やダイナミックな山岳風景、歴史ある古都、活気溢れる市場の様子など、中央アジアの景色をお楽しみいただけます。また、JICAや、東海地域の企業、東海地域出身のJICA海外協力隊が現地の人々を行う国際協力の様子もご覧ください。

是非ご来館いただき、ご取材・情報掲載のほどお願いいたします。

【取材可能期間：開催期間中（2024/7/18～2024/12/22）】

東海地域から世界へ

展示例：



写真提供：(株)学書



【写真 左】 デジタル教材を活用して教育課題に取り組む株式会社学書（愛知県）／ウズベキスタン

【写真 中央】 英語・日本語教員として活動中の JICA 海外協力隊（岐阜県出身）／キルギス

【写真 右】 帰還移民や若者などの起業予備軍に対する支援事業／タジキスタン

日本の国際協力 70 周年

日本が1954年に政府開発援助（ODA）を開始してから今年で70年。「人づくり」や「人間の安全保障」を追求し、世界の課題を解決するために日本はどんな国際協力を行ってきたのでしょうか。

施設内では、SDGsと国際協力を学ぶ 基本展「SDGs—未来につながる17の約束—」を同時開催します。基本展では、世界の「今」とSDGsを達成するための世界やJICAの取り組みをご紹介します。展示を見て、さわって、体験して、SDGs達成に向けて私たち一人ひとりにできることを考えることができます。

【展示概要】

展示期間：2024年7月18日（木）～2024年12月22日（日） 入場無料 開館時間：10:00-18:00

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は開館、翌平日が休館）、年末年始、その他天候等の理由により臨時休館する場合があります。

施設ウェブサイト：<https://www.jica.go.jp/nagoya-hiroba/index.html>

※展示期間中に連動イベントも行います。連動イベントや、学校等による展示見学と合わせた取材のご希望があればお知らせください。講師・学校等と調整を試みます。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部 市民参加協力課 石沢・後藤

TEL：052-533-0220（対応可能な時間：月—金 9時30分～17時30分）

e-mail：cbictpp@jica.go.jp